

2026年1月30日

ブルースカイアセットマネジメント株式会社

リパワリング太陽光発電所ファンドのアセットマネジメント受託について

ブルースカイアセットマネジメント株式会社（代表取締役：窪村 梨絵）は、太陽光発電事業を行う特別目的会社であるブルーインフラL2号合同会社（本社：東京都千代田区）が、複数のリパワリング太陽光発電所を取得するにあたり、アセットマネジメントを受託しました。

本件は、東北・北陸・関東に所在する5ヶ所の太陽光発電所（計7.3MW）を取得いたしました。当該発電所の発電量は、一般家庭約2,600世帯分^{※1}に相当します。

全ての発電所において、発電設備のリパワリング（設備更新）を実施済みであり、発電効率及び稼働安定性の向上が期待され、FITによる調達期間の終了後（以下、「Post-FIT」）も見据えた長期的な運営を目指します。なお、リパワリング実施により、発電量が約26%^{※2}向上した発電所もございます。

また、本件は株式会社第四北越銀行（頭取：殖栗 道郎）より、プロジェクトファイナンスによるノンリコースローンを調達しております。本プロジェクトファイナンスでは、Post-FITにおける経済性に着目し、Post-FITに対するローンを提供することで、既存電源の長期安定的な事業継続に寄与するものです。

ブルースカイグループは、太陽光発電設備の「企画・開発」から「部材調達」、「設計・施工」、「保守管理(O&M)」、「アセットマネジメント(AM)」まで、太陽光事業に関するサービスの全行程を一気通貫で提供しており、累計の開発実績は376件・318MW、OM実績は1,533件・833MW、AM実績は493物件・607MWに達するなど、太陽光事業を牽引してきた企業として継続的に再生可能エネルギーの普及と電化社会の実現に貢献しています。今後もインフラ私募ファンドの資金調達手段の多様化に取り組んでまいります。

〈本件対象のリパワリング太陽光発電所〉



※1：本件で取得した発電所の発電容量を、容量利用率12%、1世帯当たり年間消費量を3,000kWhとして換算

※2：リパワリング実施前後の1年間の発電量実績を比較

以上